

令和5年6月高島市議会定例会 開会挨拶

令和5年5月30日（火）

あらためまして、おはようございます。

本日ここに、令和5年6月の高島市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、ご出席を賜り誠にありがとうございます。それでは、開会にあたりまして、この機会に一言ご挨拶を申し上げます。

まず初めに先週23日に公表いたしました、高島市消防本部等における不祥事についてであります。このことに関しましては、とりわけ市民の皆様様の命と健康を守り、安全安心な暮らしをお支えするという職務を担う消防本部におけますハラスメント事案が、長年に亘り、且つ複数件確認されたことは誠に遺憾であり、また、それらの行為者に、当該組織を統括する責任者であった消防長が含まれていた事実が判明したことにつきましても、その任命責任を重く受け止めているところであり、この場をお借りして、市民の皆様様に改めて深くお詫びを申し上げる次第であります。

この度は本当に申し訳ありませんでした。

既に報道されておりますとおり、市といたしましては、一刻も早く消防本部の再生に繋げるためにも、再発防止と組織力の向上に必要な人心の刷新を図るため、人事異動の内示を行い、6月1日からの新たな体制を整えたところであり、今後におきましては、消防本部ならびに市役所の職員が一丸となって健全な働きやすい職場づくりを推進し、市民の皆様様の信頼回復に努めて参りますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が今月8日から「5類」に引き下げられ、国内の社会経済活動の動きが活発になって参りました。しかしながら、これまでのコロナ禍の中で、中国をはじめ、各国でのロックダウン政策による社会経済活動の停止によって生じていた様々な原材料不足は徐々に緩和されておりますものの、一方で、ロシアによるウクライナへの軍事侵略は未だに先行きが見通せず、エネルギー関連の需給状況も厳しい情勢が続いております。

この様な状況の中で、昨日の日経平均株価は33年振りの高値を更新しており、その背景には、日本の金融政策として引き続き緩和方針が示され、円安が進む状況の中で、海外の投資家による日本株買いなど、混沌とした国際金融市場の中で、我が国の経済は非常に不安定な状況で推移しております。

そのような中で、今定例会に提案いたします予算案件には、こうした経済情勢が及ぼす家計負担への支援策として「電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金」のほか、原材料やエネルギー価格の高騰により、厳しい経営環境におかれている市内中小企業経営者等の負担軽減と、事業活動の継続や雇用の安定化に資するための支援に必要な経費を計上しております。

また、更なる子育て支援策の充実を図るため、子ども医療費助成制度の対象年齢を高校生にまで拡大するとともに、全ての子どもたちの豊かな教養を育むためにご活用いただく図書カードの配布に必要な経費を計上し、引き続きまして、どこよりも子育て支援の充実したまちづくりを積極的に推進して参りたいと考えているところであります。

一方、昨日は気象庁より近畿地方が梅雨入りしたとの発表がございました。平年よりも一週間ほど早く、降雨量に関しては平年並みと予測されておりますが、6月後半は前線の活動が活発になることも予想されておりますことから、出水期の河川における洪水や氾濫の発生、あるいは緩んだ地盤の崩壊等による土砂災害への備えなど、改めて防災体制の点検を行い、万全の備えを整えて参りたいと考えているところであります。

さて、本定例会に提案させていただきます案件は、報告案件が3件、人事案件が109件、議決案件が12件、条例案件が7件、予算案件が2件の計133件を予定しております。

提案いたしました各議案につきましては、何卒、慎重なる審議のうえ、ご議決を賜りますようお願いを申し上げ、開会にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。